

大田区選挙事務改善に関する取組

令和8年4月1日

大田区選挙管理委員会

1 はじめに

令和7年7月20日執行の第27回参議院議員通常選挙において、不在者投票者数の一部が二重計上されたことにより、投票者総数と実際の票数に不整合が生じ、その差分を架空の白票及び不足票として処理するという不適正な事務処理が行われました。

本事案は、選挙の公正性及び信頼性を損なう重大な問題であり、区民・有権者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことについて、深くお詫び申し上げます。

大田区選挙管理委員会では、本事案の原因究明及び再発防止策を検討するため、外部有識者による「大田区選挙事務不適正処理再発防止委員会」（以下「再発防止委員会」という。）を設置し、検証及び再発防止策の検討を依頼しました。

このたび同委員会から提言を受けたことを踏まえ、本区選挙管理委員会として、今回の事案に直接関連する事項にとどまらず、選挙事務全体に内在する課題についても整理したうえで、既に実施した改善及び今後講ずる改善策を以下のとおり取りまとめました。

2 令和8年衆議院議員総選挙において実施した取組

令和8年衆議院議員総選挙に向けて、再発防止委員会の提言（案）を踏まえ、投票事務及び開票事務における再発防止を図るため、必要な改善を実施しました。

（1）投票事務

実施項目	改善の目的・内容
投票事務提要の改定	投票事務従事者の職務理解の促進を図るため、投票所設営準備のチェックリストや投票者数の集計方法などについて内容を整理するとともに、実務に即したマニュアルとなるよう投票事務提要を改定した。
投票用紙交付誤りの防止措置	投票用紙の交付誤りを防止するため、投票用紙交付機の用紙識別機能を活用するとともに、投票用紙の送致用かばんの仕様を見直し、投票用紙の取り違い防止を図った。また、最初の選挙人に対する投票用紙交付時において、投票用紙の種類を声出しで確認する手順を徹底することで、交付誤りの防止を図った。

時間別投票者数集計表の作成・運用	投票者数の集計誤りを防止するため、時間帯ごとの名簿対照者数及び投票用紙交付機カウンター数を記録・突合する「時間別投票者数集計表」を作成し、投票所において当該集計表を用いた投票者数管理を行う運用とした。また、数値に不一致が生じた場合には、速やかに確認を行う手順を徹底した。
速報業務手順の改定	投票者数の入力誤りや二重計上を防止するため、投票日前日に実施していた不在者投票者数の入力作業を廃止するとともに、システムを活用し、異常値（前回選挙との乖離）を自動的に検知するチェック機能を追加した。
集計作業に必要な時間の確保	投票者数の確認作業を確実にを行うため、投票日当日、各投票所から開票所への投票箱の送致時限を、従来の「午後8時45分厳守」から「原則午後9時（集計作業の正確性を最優先）」に変更し、投票者数の集計作業及び投票録の作成に必要な時間を確保した。なお、集計作業の状況により送致が午後9時を過ぎる場合には、開票所へ電話連絡のうえ送致することとした。
指定投票区・速報担当の人員配置の見直し	従事者アンケートの結果を踏まえ、業務負担の軽減及び適正かつ円滑な事務執行を図るため、指定投票区及び速報担当の人員体制を見直し、必要な人員を増員した。

(2) 開票事務

実施項目	改善の目的・内容
集計作業手順の改定	架空の票の計上などの不適正な処理、恣意的な数値の修正及び票の差し替え等を防止するため、開票集計システムへの入力前に、票の計数担当班長、事務長及び選挙管理委員会事務局長がバーコード付票の内容を確認し、計数作業に不備がないことを確認する作業手順に改めた。また、集計班においては、当該確認を経た票のみを開票集計システムに入力する運用とした。
開票速報の公表時間の見直し	開票作業における集計の正確性を確保するため、開票速報における中間発表の時間設定を見直し、集計作業に必要な時間を確保する運用とした。また、比例代表選出議員選挙については、中間発表を行わず、確定報告のみを公表する運用に変更した。

開票事務提要の改定	計数及び集計作業における確認体制の強化を図るため、各班の班長及び班員の役割を明確化するとともに、投票者数と投票数に齟齬が生じた場合等の緊急時における対応手順を整理したフローチャートを新たに作成するなど、開票事務提要を改定した。
透明性の高い開票所運営の実施	開票事務の透明性の確保及び事後検証の実効性向上を図るため、開票所内の参観エリアの配置を見直し、可能な限り「どこからでも開票作業を参観できる」環境を整備した。また、開票事務の実施状況を客観的に記録し、事務改善及び事後検証に活用するため、開票所内の作業状況についてビデオカメラによる撮影を実施した。
白票の管理簿の作成	白票の適正な管理及び不適正処理の防止を図るため、開票事務において集計テスト等で使用する白票について管理簿を作成し、使用枚数及び保管状況を記録するなど、白票の使用状況を把握できる管理体制を整備した。
開票立会人要領の改定	開票管理者及び開票立会人の役割と責任を明確にするため、「開票立会人要領」の記載内容を見直し、開票速報における数値の整合性確認など、開票事務において立会人が確認すべき事項を明記した。
コンプライアンス担当の配置	開票事務における不適正な処理の防止及び適正な事務執行の確保を図るため、新たに開票所内にコンプライアンス担当を配置し、開票作業の状況確認及び不適正な処理の未然防止を図る体制とした。

3 令和9年4月執行予定の統一地方選挙に向けて実施する取組

令和9年4月執行予定の統一地方選挙までに実施することを目途として、投票事務及び開票事務の正確性の向上並びに事務体制の強化を図るため、必要な改善及び体制整備を進めてまいります。

(1) 投票事務

実施項目	改善の目的・内容
時間別投票者数集計表の改定	衆議院議員総選挙において導入した時間別投票者数集計表について、投票者数の確認体制をさらに強化するため、時間帯ごとの名簿対照者数、入場

	整理券回収枚数及び投票用紙交付機カウンター数の三点による突合を行う運用に改める。また、数値の不一致が生じた場合の確認、報告及び再集計の手順を明確化する。
集計係の設置	投票者数の確認精度の向上を図るため、当日投票所において投票者数の集計作業を担当する「集計係」を設置し、時間別投票者数集計表の管理及び突合作業を行う体制を整える。これにより、庶務係長の業務負担の軽減を図るとともに、集計作業に専念できる体制を確保する。
投票管理者等の手引の改定	投票所における役割分担及び責任の所在を明確にし、適正かつ円滑な投票所運営を図るため、投票管理者及び投票立会人の職務内容を整理する。また、「投票管理者等の手引」の記載内容を見直し、投票所従事者との連携体制の明確化を図る。
外部従事者体制の整理	外部従事者の管理体制を整理し、業務管理の効率化及び習熟度の均一化を図るため、区職員以外の従事者について、「投票事務アシスタント」と「派遣職員」に分かれている現行体制を見直し、いずれかの形態に一本化する。これにより採用・雇用スキームを整理し、選挙管理委員会事務局の業務管理負担の軽減を図るとともに、全従事者への研修受講を必須とすることで、習熟度のばらつきによる混乱の防止を図る。

(2) 開票事務

実施項目	改善の目的・内容
開票管理者及び立会人対応マニュアルの策定	開票所における開票管理者及び開票立会人への案内を適切かつ円滑に行うため、従事職員で構成される庶務班が統一的に対応できるよう、対応手順等を整理した業務マニュアルを策定する。

(3) 投開票共通事務

実施項目	改善の目的・内容
白票管理マニュアルの策定	投票用紙の適正な管理及び不適正処理の防止を図るため、未使用の投票用紙及び効力が決定した投票用紙（白票等）について、期日前投票、不在者投票、投票所及び開票所など各段階における取扱いを定めた「白票管理マニュアル」を策定し、適正かつ厳正な管理を徹底する。

危機管理マニュアル（BCP）の策定	投開票時間中の災害、大規模停電、重大なシステム不具合、傷病人の発生などの不測の事態においても適切に選挙事務を継続できるよう、危機管理マニュアル（BCP）を策定する。発生パターンごとに判断権者、連絡先、作業の一時中断及び再開の基準などを定め、投票所、選挙管理委員会本部及び開票所における共通認識の形成を図る。
選挙事務研修（職層別）	職員の選挙事務に対する理解及び意識の向上を図るため、新規採用職員向けの選挙制度及び投開票事務の概要研修並びに管理職、係長、主任等を対象とした職層別の研修カリキュラムを整備し、選挙事務を「全職員の業務」と位置づける。
オンデマンド研修動画の整備	選挙事務従事者の職務理解の促進及び研修機会の確保を図るため、投票事務及び開票事務の流れやポイントを解説した動画教材を作成する。庁内ネットワーク等を通じて常時視聴可能とし、事前学習や復習に活用できる環境を整備する。
部局割当制の導入	選挙事務に従事する職員を安定的に確保するため、選挙管理委員会事務局のみで従事職員を確保する体制を見直し、人事課と連携して区長部局からの部局割当制（全部又は一部）の導入を図る。

4 中長期的に実施する取組

令和9年4月執行予定の統一地方選挙以降、2030年頃を目途として、選挙事務の安定的な執行体制の確立及び事務の高度化に向け、段階的に検討を進め、順次実施してまいります。

（1）投票事務

実施項目	改善の目的・内容
従事体制の見直し	投票日前日から当日にかけての業務について、特定職員への業務集中や長時間勤務を前提としない従事体制を構築する。このため、期日前投票終了後の準備作業等について、選挙管理委員会事務局職員（現役・OB）と応援職員を組み合わせ配置するなど、業務負担の平準化と人材育成を両立させる体制の構築を図る。

(2) 開票事務

実施項目	改善の目的・内容
開票作業時間の見直し	開票従事者の待機時間の削減及び業務負担の軽減を図るため、各班の作業内容や終了時刻に応じて段階的に職員を解散させる仕組みを運用するとともに、開票従事者の集合から投票箱の開披までの待機時間の有効活用を図る観点から、送致物品の受付対応の可否や集合時間の見直しについて検討を行う。
外部委託・派遣職員の活用	開票事務における人員確保及び業務負担の軽減を図るため、区職員による事務執行を確保しつつ、票の分類や検査に加え、票の計数などの作業について外部委託・派遣職員の活用の可能性について検討を進める。その際、作業上想定されるリスクや責任の所在を整理し、適正な業務執行が確保できる運用方法を検討する。
最高裁判所裁判官国民審査における集計方法の見直し	最高裁判所裁判官国民審査における集計の正確性及び作業効率の向上を図るため、分類機による処理精度や職員による確認作業の方法について見直しを検討する。令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙では、分類機の精度が十分でなかったことから、目視確認の追加や手作業による再集計等の対応を行った。次回の国民審査では対象となる裁判官数の増加も見込まれるため、分類機の運用方法、職員の作業手順及び人員配置について検討を進める。

(3) 投開票共通事務

実施項目	改善の目的・内容
選管事務局の計画的な人員配置	適正な選挙事務の継続的な執行を確保するため、選挙管理委員会事務局の在籍年数や選挙事務の経験を踏まえた計画的な人事異動を行う。短期間で職員が入れ替わる体制を見直し、一定期間継続して選挙事務に従事する職員を配置することで、知識や経験の蓄積を図る。
事務ミス事例集の作成	選挙事務におけるミスの再発防止及び職員のリスク認識の向上を図るため、区及び他自治体で発生した事務処理ミスやトラブル事例を収集し、その原因と対応策を整理した「選挙事務ミス事例集」を作成する。作成した事例集は事務提要や研修資

	料として活用し、実際の事例を題材とした学習を通じて再発防止を図る。また、選挙種別ごとの特徴や傾向を分析し、重点的に注意すべきポイントを明確化する。
選挙事務 DX の推進	選挙事務の効率化及び人為的ミスの防止を図るため、投票者数把握や開票作業を支援するデジタルシステム（集計支援、進捗管理、照合作業支援など）の導入・活用について検討する。特に、速報、投票及び開票に関するデータ連携の自動化を図り、人手による転記や照合作業の削減を目指す。

5 おわりに

選挙は民主主義の根幹を支える制度であり、その管理執行においては、公正性及び正確性の確保が強く求められます。今回の事案を厳粛に受け止め、本区選挙管理委員会といたしましては、再発防止委員会の提言を踏まえ、再発防止及び選挙事務の改善に全力で取り組みます。

今後も不断の見直しと改善を重ねながら、選挙事務の検証及び改善を継続的に行い、区民・有権者の皆様からの信頼回復に努めてまいります。